

◆ 整形外科

■ 当院の整形外科の診療

骨折や脱臼の整復と固定、外傷後の腱や靭帯の修復と再建、関節の変形に対する人工関節置換術など手術を多数手がけてきた医師が治療を担当いたします。整形外科疾患一般に加え、スポーツ外傷や小児外傷、骨粗しょう症、慢性関節リウマチなども扱っております。また、伊藤医師は、手・肘の痛みとシビレ、麻痺の診断と治療に長年携わって参りました。

● 対症疾患

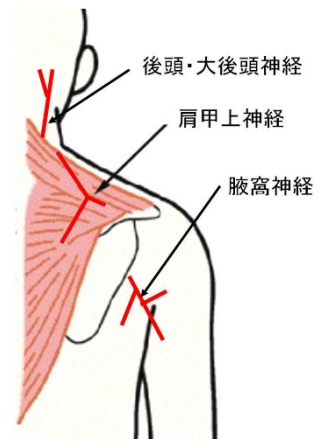
1. 骨折、脱臼、捻挫など骨・関節外傷
2. 腱・靭帯・神経損傷など軟部組織損傷
3. 加齢に伴う関節変性疾患
4. 椎間板ヘルニアや変形性脊椎症など脊椎・脊髄疾患
5. 骨粗しょう症と骨脆弱性骨折
6. 慢性関節リウマチなどの膠原病や炎症疾患

● 専門である手外科領域

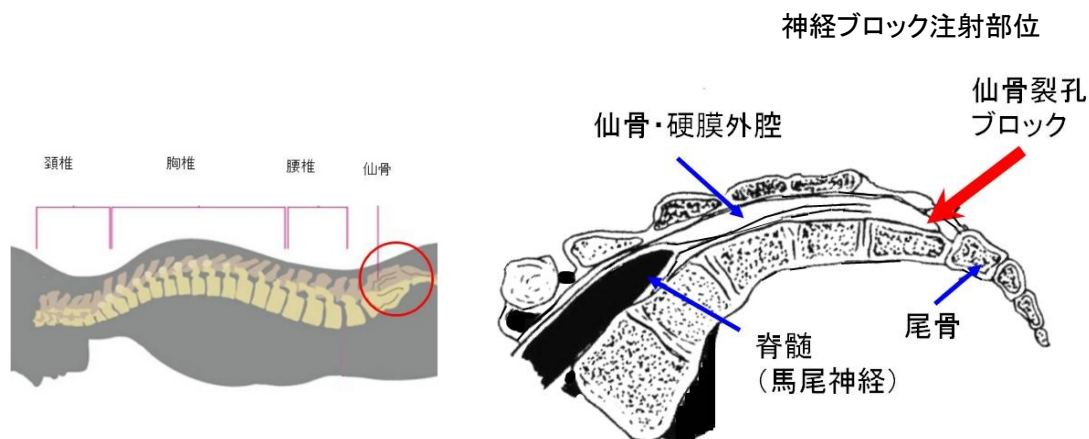
1. 手・指・手関節の骨折・脱臼・靭帯損傷，手関節の靭帯-軟骨複合体 TFCC 損傷，月状骨無腐性壊死（キーンベック病），突き指による槌指変形
2. 狭窄性腱鞘炎（ドケルバン病），デュピュイトラン拘縮，ばね指・強剛母指
3. 手根管症候群（Ⅰ-Ⅳ指のシビレと巧緻障害），橈骨神経麻痺（下垂手），肘部管症候群（Ⅳ-Ⅴ指のシビレと握力低下）
4. 加齢に伴う手指関節変形（ヘバーデン結節），母指 CM 関節症
5. 手・指腫瘍（ガングリオン），感染症（爪周囲炎）
6. 野球肘，テニス肘，ゴルフ肘

● ペインクリニック

1. 頸から肩・腕の痛みの原因：椎間板ヘルニアや頸椎の変形に由来する頸椎症、肩関節の関節症、末梢神経の障害頸神経は脳神経とも密接な関係を持ち、頸神経の障害は、めまいや耳鳴、顔面痛などの脳神経症状をきたすこともあります。
2. 腰や脚の痛みを来す疾患：循環障害や外傷、椎間板ヘルニアや加齢による変形
腰痛、下肢痛やしびれ、筋力低下、膀胱直腸障害を生じます。このような痛みやしびれには消炎鎮痛剤やリハ



びりに加え、局所麻酔薬の注射が有効です。症例により神経ブロック注射や仙骨裂孔ブロック注射を実施します。



● 骨粗しょう症の診断と治療

骨粗しょう症は、骨の構造が疎になり強度が低下して骨折を起こす(骨脆弱性骨折)疾患です。最も骨折しやすいのは腰椎(腰骨)で、次が大腿骨近位部(股)です。高齢者が寝たきり状態になる危険が大きく、50歳代からの予防が重要です。

1. 骨密度計測(腰椎と大腿骨): 世界標準の DXA 法
2. 血液検査: 全身状態のチェック、カルシウムとビタミン D の過不足、骨新陳代謝(古い骨の吸収と新たな骨形成のバランス)

を調べ、薬だけではなく、食事療法や運動療法も取り入れながら、患者さんごとにセルフメイドの骨粗しょう症治療に取り組んでいます。

● 担当医師紹介

伊藤 聡一郎(いとう そういちろう)

■ 専門

整形外科

■ 資格

医学博士

日本専門医機構認定整形外科専門医

日本手外科学会認定手外科専門医